

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	1292500178		
法人名	株式会社ヘルシーサービス		
事業所名	グループホームガーデンコート南流山(1階)		
所在地	千葉県流山市南流山10-28-9		
自己評価作成日	令和6年2月29日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/12/index.php">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/12/index.php</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	株式会社アミュレット		
所在地	東京都中央区銀座6-13-9 GIRAC GINZA8階bizcube		
訪問調査日	令和6年3月13日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

【「わ」を紡ぎ繋げます。】をコンセプトに、お客様・ご家族と共にまた地域の方々とも交流を深めております。  
安心安全を大切にし健やかな暮らしが出来る施設を目指しております。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

新型コロナウイルス5類移行を受けて、利用者の活動の活動の幅を少しずつ広げて、利用者の楽しみの拡充につなげています。具体的な取り組みとして、近隣公民館で開催された地域のイベントに利用者と一緒に参加をして、ボランティアの音楽演奏や踊りを楽しむことができました。また近隣のホームセンターまで利用者とはかかって買い物を楽しんだり、近くのファミリーレストランでの外食も再開しています。令和5年度は新規の利用者の入居が重なりましたが、ホーム内外の取り組みを充実させていることで、新規に入居された利用者もホームの生活に慣れ、職員とも馴染みの関係が構築できていることが確認できました。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「わ」を紡ぎ繋げますというコンセプトを開設以来続けております。管理者、スタッフが共有し合い、実践につなげております。	「わ」を紡ぎ繋げますをホームのスローガンに掲げています。全体での共有化に向けて、職員の目に触れやすい場所へ掲示し全体で共有しています。日ごろから利用者とのかわりを大切にして「わ」を体現化できるように努めています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ以前の活動にはまだ戻っておりませんが、地域のイベントに少人数で参加しております。	新型コロナウイルス5類移行を受けて近隣公民館で開催されたイベントに参加するなど少しずつ地域との関わりを再開しています。今後も少しずつ地域との関わりを広げていき地域交流を活性化させていきたいと考えています。	地域のイベントなどにも参加することができているため、今後に向けては、地域のボランティアなどの交流も広げるなど、地域との交流がさらに充実できるとよいと思います。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	入居のお問い合わせの中で介護相談も行っております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を対面で行い、行事のアドバイスや意見を聞き取り入れてお炒ります。	会議には市の担当課と地域包括支援センター職員が交互に出席するほか、民生委員や利用者家族の参加を受けて2ヶ月毎実施しています。ホームの現状の報告のほか、民生委員から地域情報の提供を受けるなど双方で意見を交わして有意義な会議にしています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議や電話にて書類作成や新規入居者の相談を行っております。	運営上相談事が生じた際には市の担当課へ連絡を入れて必要な指示を仰いでいます。運営推進会議にも参加いただけることでホームの取り組みを報告し必要な助言も頂くことができるなど協力関係を築くことができています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	事業所内の研修において身体拘束について学んでおります。新規採用時にも必ず説明を行っております。当事業所内では玄関の施錠は行っておりますが、身体拘束の実施例はございません。	2ヶ月に一度の運営推進会議で身体拘束適正化委員会を実施しホームでの取り組みを参加者に報告し必要な助言を得ています。またオンデマンドや内部での集合研修を通して身体拘束廃止研修を開き職員の意識を高めています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事業所内の研修において高齢者虐待について学んでおり、スタッフも理解しております。前項同様、新規採用時にも必ず説明を行っております。		

グループホームガーデンコート南流山(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	身体拘束、高齢者虐待の研修の中で権利擁護に触れスタッフに周知しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	見学・初回面談、契約時に丁寧な説明を心掛けております。また、不安な点等お尋ねし、理解・納得を図っております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様からは来訪時に、お客様からは日々の生活の中で意見や要望をお聞きし、精査したうえで、実践につなげております。	家族からの意見や要望については面会時に直接確認するほか、外部評価時の家族アンケートを通して確認しています。利用者からの意見や要望は日常会話から収集しています。意見や要望等が表出された際には速やかに対応しています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々の業務や申し送り、個別相談などで提案や不安な点を聴取し、業務改善に活かしております。	年2回の人事考課を通して管理者が職員と面談をして意向や要望等を確認しています。また会社全体で従業員満足度調査も年に一度あり、職員が要望等を表出できる機会を設けています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	スタッフとお客様が一緒にやりたいレクが出来るように物品面での環境整備、季節ごとのイベントも役割を分担し一人に負担がかからないよう配慮しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	昨年度よりオンデマンド研修を実施しております。感染症予防の観点から一同に集まる研修行っておりません。研修記録の提出により、知識の定着を図っております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	流山市の施設連絡会に参画しました。また地域のケア会議にも参加しホームのアピールを行いました。		

グループホームガーデンコート南流山(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	聞き取り・観察、会話を通し、本人の要望を見出し、不安の払拭と安心安全な暮らしにつなげています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	聞き取り・観察、会話を通し、本人の要望を見出し、不安の払拭と安心安全な暮らしにつなげています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、ご家族とよく話し合いご協力いただきながら本人にとってより良い支援を提供しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人、ご家族とよく話し合い、ご本人の出来ることできないことを把握し、お掃除・洗濯物畳みなどの家事の手伝いなどでスタッフとの関係を築いています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	コロナ禍の影響もあり、ご家族の来訪が制限されているため、お電話にてご本人の状態の情報共有に努めています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会制限は設けていないですが事前連絡は頂いております。来所時の検温・手洗い・消毒を徹底しています。外出・外泊をされる方もおり、馴染みの場所へ行かれていますとの事。	馴染みの人や場所との関係継続に向けた支援では、友人の来訪を許容しているほか、家族との外出や外食も許容しています。家族や友人と年賀状をやり取りするケースも大切にしており、これまでの関係が継続できるように努めています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	カラオケ・体操等を行い、部屋にこもりがちにならないように努めています。また、利用者同士の関係を見極め席替えなども行いながら関係を深めていただいています。		

グループホームガーデンコート南流山(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去したお客様のご家族様から介護の相談を受けた事があります。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	スタッフ全体からの情報共有を受けて、サービス計画作成担当者やケアマネージャーと打合せを行い、お客様の本人の暮らし方の要望に出来るだけこたえていく努力をしています。	利用者の思いや意向については日常会話からの収集のほか、ケアプランの作成および更新時に実施するアセスメントにおいて確認しています。抽出した意見や要望、課題等はケアプランに反映し日々の支援に反映できるように努めています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	計画作成担当者を中心にお客様・ご家族から聞き取りを行い、生活歴などの把握に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	スタッフを中心に現状のお客様の状態を把握し情報共有に努め、日々のケアにを行っています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	スタッフからの意見を基にご家族・医療関係者の報告を行い、全体の意見を反映したケアプランをケアマネージャーが作成しています。	アセスメントで抽出した情報、利用者本人、家族、職員の意見を担当者会議で話し合い、総合的な意見を踏まえてケアプランを作成しています。ケアプランの進捗については毎月モニタリングで確認し、6ヶ月毎ケアプランを更新しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録や申し送りノートに情報を記載し情報共有をし、実践や計画の見直しに役立てています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	自拠点のサービスに加え、訪問医療・訪問マッサージ等と協力して取り組んでいます。		

グループホームガーデンコート南流山(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	現在、外出支援は行えていませんが、生活する上で欠かせないものに関しては訪問サービスを利用しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携医療機関により、訪問診療は月4回、訪問歯科の月2回の訪問診療があります、また、緊急時には臨時的な往診を行っていただいております。	提携先のクリニックの定期往診を通して主治医と連携を図っています。往診以外にも24時間連絡が取れる体制を築き緊急時にも迅速な対応を可能としています。またこれまでの通院先を継続も可能とし、通院は家族対応にしています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	当ホームに看護師はおりませんが往診医による受診も常に可能な状態です。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した際はサマリー等の情報提供を速やかに行える体制を取っています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に終末期における当ホームの方針を掲示し、ご理解頂いております。また、終末期におけるご家族・ご本人の意向を把握し、医療機関との連携を取り、ケアの対応についてチームで話し合いを行って支援に取り組んでおります。	重度化した場合や終末期の対応についてはホームでできること、できないことを利用契約の際に説明しています。現状看取り支援は行っていませんが、重度化によりホームでの生活が難しくなった際には、今後の方針を家族も交えて検討しています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応の研修を行い、マニュアルを掲示し周知しております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災マップを掲示、消防訓練を年2回実施しております。	災害に備え令和5年度は3月中に2回避難訓練を実施し日中の火災、消防をお呼びして夜間を想定した訓練を実施しています。備蓄品についてもホーム内に保管しています。策定が義務付けられた事業継続計画(BCP)も災害時と感染症拡大に備えた計画を策定しています。	今後に向けては計画的にゆとりを持って避難訓練を実施していく事や、作成を終えた事業継続計画について、実際に発動させた訓練などの実施にも期待します。

グループホームガーデンコート南流山(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お客様の尊厳についての研修を行っており、正しい言葉遣いがケアに於いて適切に行えるように努めています。	利用者に対して不適切な対応にならないように、オンデマンド研修を通して接遇やプライバシー保護についての研修を行っています。日常的にも言動や行動等を振り返る機会を設け、不適切な対応があった際にはその場で注意するようにしています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	お客様の日々の状態や変化に合わせて、本人のご意向にあった働きかけを行っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お客様の日々の状態や変化に合わせて、本人のご意向にあった働きかけを行っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎日の整容を行い、2か月に1度訪問理美容を行利用しております。ご自身で更衣が可能な方はスタッフが季節やご希望に沿った洋服を準備し、着替えていただいています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食後の食器洗いやテーブルを拭いていただいております。また、お客様の食べたいものなどを聞き取り、食事の内容の変更を月に1度行っております。	食材については湯煎で温める食材を使用しています。食材の盛り付けや食器洗浄後の拭く作業などには利用者にも関わって頂いています。食事の楽しみに向けて11月に外食に出かけたり、季節毎で行事食を取り入れて食の楽しみにつなげています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人の食生活・禁食を把握し、時間にとらわれず食事の提供を行い、一日の食事・水分の摂取が出来るように支援しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを実施し、また、訪問歯科による定期健診を受けています。		

グループホームガーデンコート南流山(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	トイレでの排泄介助に際し、時間やパターンの把握に努めています。	排泄については定時の声かけや誘導により、トイレで排泄できるように支援しています。定時に声をかけることができ、排泄の失敗などを防ぐことができている。排泄状況はタブレット端末から専用の介護ソフトへ入力しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日々の運動や水分摂取で便秘の解消に努めているが、薬に頼らなければならないお客様もいらっしゃいます。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	週2回の入浴日を設定しスケジュールを組んでいますが、お客様の意向や体調に合わせて入浴していただいております。	入浴については週に2回入浴できるように支援しています。入浴中は職員が介助について事故が起きないように努めています。リフトが付いているため浴槽へも安全に誘導できますが状態によってはシャワー浴での対応に切り替えています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お客様一人ひとりの習慣に合わせて入眠いただいております。日中に於いても本人の体調にお合わせて休んでいただいております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お客様の薬の用法・効果・目的を医療関係者の情報をスタッフが把握し、お客様に説明しています。服薬の支援と観察を行っております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	クリスマス・お正月・節分などの季節の行事を行っております。食事は湯煎形態の物を使用しておりますが、メニューに合わせて主食をパン食に変更する等の工夫をしております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	職員の人員に余裕がある時は近所へ散歩に行っている。	新型コロナウイルス5類移行を受けて、少しずつ戸外での活動も再開しています。気候の良い時期にはホーム周辺の散歩や近隣のホームセンターまで利用者をお連れしています。また11月には外食へ出かけるなど、戸外での活動を充実させて利用者の活動の幅を広げています。	



グループホームガーデンコート南流山(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お客様のお預かり金は原則事務所で一括管理させていただいております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人のご希望により電話を掛けたり、取り次いだりしております。個人で携帯電話をお持ちのお客様もいらっしゃいます。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合わせた模様替えや飾りつけを行い、季節感のある空間を演出しております。	今年度も引き続き感染対策を強化しているため、外出行事の実施とまでは至りませんでしたが、天候の良い日にはウッドデッキや玄関先で日光浴をして頂いたり、家族との外出を許容して、家族と外出を楽しめるように配慮し戸外に出かけられるように努めています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	お客様1人1人の席は基本的には決まっておりますが、移動は自由にできます。お客様同士の愛称もありますので、気の合ったお客様同士で過ごしていただけるよう配慮しております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	火器や危険物については持ち込み禁止ですが、日用品や使い慣れた品物に関しては基本的に自由に持ち込んでいただいております。また、本人の希望により必要な物品を購入する事も出来ます。	季節に合わせた装飾品を掲示するなど季節感が感じられるように各ユニットで工夫しています。日々の掃除の徹底や感染対策として手すりや床、リビングのテーブルなどもこまめに消毒するほか換気を徹底するなど基本的な対策を継続しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	お客様の残存能力を理解し、活かしたケアを心掛け安全に配慮しながら自立した生活の支援を行っております。		